



釧路町せちり図書室

釧路には「釧路市」と「釧路町」、異なる自治体があるというのを皆さんご存知でしょうか？『わが町を知ってもらおうなら！北海道の図書館員が薦めるブックガイド』で各自治体にアンケートのお願いをする際に私は知りました。「横浜市（神奈川県）」と「横浜町（青森県）」の例えが適切かはわかりませんが、そのぐらい驚きました。そこで経緯や仕組みがネットや文献では納得できず確認しに行きました。行かないとわからないことって結構あるものです。

釧路は道東の拠点となる地域です。釧路駅は釧路市、「イオン釧路店」は釧路町にあります。駅からタクシーで15分もかかりません。私のようにバスを利用する場合はあちこち迂回するので30分以上かかります。ちなみに徒歩なら1時間。

つまり釧路市のベッドタウンのような立ち位置にもなっています。釧路町せちり図書室はイオン釧路店から徒歩10分ほど。

とにかくなぜこのような複雑な事情になっているのでしょうか？

それぞれの自治体公式HPから歴史を追いかけると明らかになります。かいつまんで説明します。釧路市に触れないと釧路町の歴史に繋がりません。

1900(明治33)年:釧路町(現、釧路市及び釧路町)誕生

1920(大正9年):北海道区制施行で釧路区になりこの時に「釧路村」(現釧路町)を分離独立

1922(大正11)年:釧路区から釧路市へ

1980(昭和55)年:町制施行により釧路村から釧路町へ

2002(平成14)年:釧路市、釧路町合併協議会設置

2003(平成15)年:釧路市、釧路町合併協議会解散

合併協議会当時の住民説明会記録を見てみると、平成の大合併が全国で実施され、その際に合併しなかった自治体も全国各地にあります。そのやり取りと類似している地域もありますが、文書に残していない根深い理由もあるようです。ここではこれ以上深掘りしません。釧路町の人口は18390人(2024年10月末現在)です。

2005年、釧路市は阿寒町、音別町と合併し、面積も釧路町の何倍も大きくなりました。それまで、1955年に昆布森村と釧路村が合併して新しい釧路村になってからは、釧路町の面積の方が大きかったのにも驚きます。

釧路町せちり図書室へ行ってきました。釧路町には釧路町とおや図書室を含めた2カ所の図

書室があります。「せちり」は釧路町コミュニティセンター内に、「とおや」は釧路町公民館内に入っています。施設と運営は異なり、「せちり」は釧路町雪裡(せつり)支所に、とおや図書室は釧路町遠矢支所の施設を間借りしています。しかしいずれも教育委員会が運営しているので、それぞれのカウンタースタッフは教育委員会の職員です。

せちり図書室はイオン釧路店に近いなどの立地から利用者が多いそうです。

ちなみに、「せちり」の所蔵は一般書約 14400 冊、児童書約 7800 冊、「とおや」は一般書約 11600 冊と少ないですが、児童書は約 8800 冊とこちらはとおや図書室の方が少し多いようです。

滞在時間 30 分の駆け足でしたが、釧路市との距離感や釧路町2つの施設の所管の違いなど感覚的にもわかりました。このような自治体の経緯や管理は他にもたくさんあるのでしょうか。

今回は町の歴史を中心に綴りました。疑問に納得しなかったからです。美味しいもの食べたかったのですが、次の町に向かう列車の時間が危ないので撤収。残念！

2024 年 10 月訪問

加藤 重男